

危機管理と校長の役割

資料

学校への影響・ダメージの大きいと考える危機 (職種別)

	不祥事	いじめ	学習中の事故	個人情報
校長	26%	22%	18%	
教頭	30%	30%	15%	
教諭等	15%	16%	18%	11%
養護教諭	15%	19%	7%	19%
事務職員	11%	16%	18%	11%

養護教諭 同率15%:アレルギー
 その他上位:資金管理

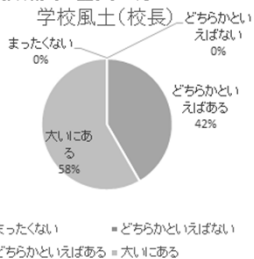
学校への影響・ダメージの大きいと考える危機 (年代別)

	不祥事	いじめ	学習中の事故	個人情報
5年目	13%	22%	18%	18%
20代		22%	22%	11%
30代	17%	14%	22%	14%
40代	13%	14%	19%	
50代	15%	16%	19%	

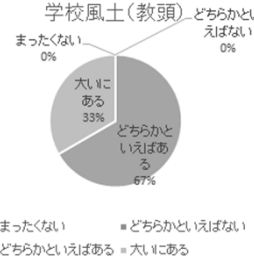
20代 17%:指導力不足・資金管理
 その他:資金管理

校長と教頭の違い

若手教職員を全員で育てようとする
 学校風土(校長)

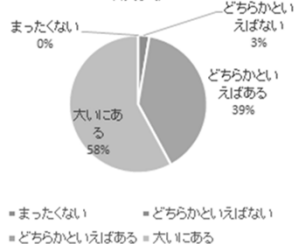


若手教職員を全員で育てようとする
 学校風土(教頭)

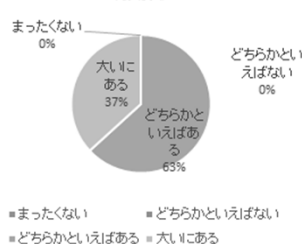


校長と教頭の違い

トラブルを抱えた教職員を応援 (校長)

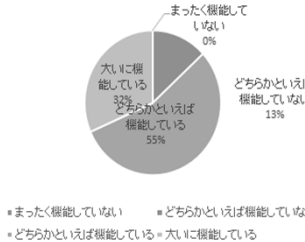


トラブルを抱えた教職員を応援 (教頭)

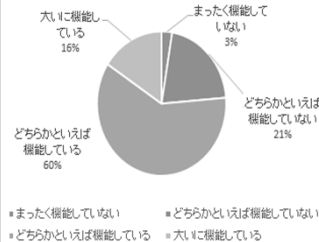


校長と教頭の違い

生徒指導部は機能しているか(校長)



生徒指導部は機能しているか(教頭)



職種による違い

◆ 学校全体でトラブルを抱えた教職員を応援しようとする雰囲気がありますか。

	大いにある	どちらかといえばある	どちらかといえばない
校長	58%	39%	3%
教頭	37%	63%	0%
教諭等	0%	84%	16%
養護教諭	0%	83%	17%
事務職員	0%	100%	0%

年代による違い

◆ 教職員の指導力不足

新採5年	20代(後半)	30代	40代	50代
2%	17%	3%	6%	1%

◆ アクシデントの認識

新採5年	20代(後半)	30代	40代	50代
7%	33%	25%	13%	10%

◆ インシデントの認識

新採5年	20代(後半)	30代	40代	50代
60%	33%	50%	48%	40%

学校規模による校長の違い

◆ インシデント：保護者との関係悪化

	小規模	中規模	大規模
校長	9%	25%	40%

◆ いじめは多いか？

	小規模	中規模	大規模
校長	20%	27.3%	50%

◆ 子どものトラブルは多いか？

	小規模	中規模	大規模
校長	21.4%	45.5%	50%

学校規模による校長の違い

◆ 保護者から管理職への直接の意見や要望

	小規模	中規模	大規模
校長	0%	18.2%	25%

◆ 保護者からの強いクレーム

	小規模	中規模	大規模
校長	33.3%	54.5%	100%

各校の実践 1

【学校安全計画の改善】

A小学校(中規模)

項目	5	6	7・8	9	10	11	12
進捗	5	6	7・8	9	10	11	12
5	6	7・8	9	10	11	12	
6							
7・8							
9							
10							
11							
12							

各校の実践 1

【改善の経過及びポイント】

1. 改善の経過

- 令和元年5月 → 校長会健康教育部研修会
「危機管理と校長の役割」県スポーツ保健課 渡邊隆 課長補佐
- 令和元年5月 → 学校安全計画見直しプロジェクト立ち上げ
- 令和元年6月 → 学校安全計画作成及び職員への周知
- 令和元年7月 → 校長会健康教育部主催安全主任研修会
- 令和元年7月 → PTA研修会にて学校安全計画の周知

各校の実践 1

2. 改善のポイント

(1) 研修成果を活かした改善

- 「安全教育」「安全管理」「組織活動」の目的の明確化
- 文部科学省及び県教育委員会提示のモデルの活用
- 安全主任の意識の向上並びにスキルアップ

(2) アンケート結果を活かした改善

- 安全主任と養護教諭を中心としたプロジェクト
- 校内研修による安全教育並びに安全計画の周知
- 安全教育並びに安全計画を保護者と共有

各校の実践 2

【危機管理マニュアルの統合】 B小学校(大規模)

課題 様々な危機管理マニュアルが存在し、全掌握が難しかった。(平成30年度)

【学校経営概要】

非常災害対策及び防止計画(火災・地震・不審者避難訓練)

地震・台風・水害対応マニュアル

熱中症対応マニュアル

食物アレルギー児童対応マニュアル

特別な支援を要する児童対応マニュアル

水泳指導・プール管理規定

灯油漏えい緊急事態対応マニュアル

等

【防災マニュアル】・・・市防災安全課主導で学校で作成

学校安全防災全体計画

学校防災マニュアル

避難所運営マニュアル

等

課題解決 学校安全防災対策委員会を設置・・・安全教育、安全管理の推進役
学校安全防災マニュアルとして統一
学校経営概要にマニュアル前半部分を掲載 (平成31年度)

各校の実践 2

II-1 学校安全防災対策委員会

1 運営目標

日常の安全教育及び安全管理を推進するとともに、火災や地震等の災害が発生した場合において、速やかに児童・職員の安全確保を図るための適切な安全指導及び施設・設備の管理を行う。また、学校安全防災マニュアルを検討・策定し実施する。

2 運営方針

- (1) 児童及び職員の命を最優先に、想定される災害に対して、非常災害対策及び防止計画を策定し、見直しを図っていく。
- (2) 非常事態と判断された場合、児童を保護者に確実に受け渡すまでの対策を計画に従って行う。
- (3) 施設設備の安全管理を確実に行う。
- (4) 全教職員の共通理解のもと、組織的、計画的に行うように努める。
- (5) 体育館が地区の避難所となった場合、市避難所運営委員会と協議し、その運営を助ける。

3 委員会の構成

◎安全指導主任、○教頭、校長、保健主事、養護教諭

効果 ○安全主任を中心に安全教育、安全管理が推進している。
○学校安全防災マニュアルをもとに危機意識を全職員間で共有、情報の伝達が行われている。

課題 ○膨大な資料の学校安全防災マニュアルの更新が必要
――安全主任・保健主事・教頭等で分担等で解消

各校の実践 3

【有事に備えた下校訓練・引き渡し訓練】

○小学校(大規模)

- (1) 通学路の安全が確認された場合を想定した訓練<一斉下校訓練>
- (2) 通学路等の安全が確保できない場合を想定した訓練<引き渡し訓練>を計画する際の検討事項

① <一斉下校訓練>の大まかな流れ

- ① 緊急時下校 実施判断(校長)
- ② 移動開始の放送(教務) ※6年の移動時のみ
放送の合図で6→1→2→3→4→5年の順に移動
学年の最後に移動する学年は次の学年に連絡する
- ③ 集合場所に整列 ※晴天時:グラウンド、雨天時:体育館
通常の避難訓練と同様に、学年ごと、各学級男女2列出席番号順

各校の実践 3

- ④ 下校先を変更する児童と欠席児童の把握
担任が「連絡届け」に記入し、該当児童に渡す
欠席児童の「連絡届け」は、同じコースの児童へ渡す
- ⑤ 教職員がそれぞれの担当場所に移動
19のコース+本部(教頭)
学年主任はコースを担当せず、緊急時対応
- ⑥ 変更する児童の移動
変更前のコース担当に「連絡届け」を見せてサインをもらい、
変更後のコースへ
コース担当者は名簿に変更事項を記入
- ⑦ 全体移動
名簿との照合と人数確認
- ⑧ 最終報告(教頭) ※報告を受け、チェック表で確認
「○○コース ◇◇名全員います」
「△△コース 変更児童◆名 ◆名増(減)で☆☆名です」
- ⑨ 下校開始

各校の実践 3

(2) <引き渡し訓練>を計画する際の検討事項

【引き渡しの判断基準】

- ・通学路に被害が発生していないか
- ・地域の被害が拡大するおそれがないか
- ・下校の時間帯に危険が迫っていないか
- ・引き渡す保護者にも危険が及ばないか

<検討事項1> 有事の際の保護者への連絡方法

携帯メール、電話、目印(旗)の提示 など

<検討事項2> 引き渡し(学校側)・引き取り(保護者側)の手順

児童が校内で活動中に有事が発生した場合

〃 校外活動中 〃

〃 登下校中 〃

<検討事項3> 避難場所(留め置く場所)

※車で来校する保護者の駐車場や車の流れを考慮に入れつつ教室、体育館、
グラウンド、近くの公園 など

<検討事項4> 児童の心のケア実施のありかた

<検討事項5> 職員の役割分担

以上の事項について検討を重ね、計画・実施へとつなげていく。

各校の実践 4

【通学路安全推進事業…関係機関との連携による危機管理】

D小学校(中規模)

- 目的 ○関係機関と連携して、通学路の安全確保に向けた取組を行う。
○通学路合同点検及び協議を通じて、児童の交通事故防止を図る。

【協議会メンバー】

学校、警察交通安全課、市道維持課、PTA、
アドバイザー(東北芸術工科大学教授)

【活動内容】

通学路合同点検
連絡協議会(年2回開催)

【効果】

- 専門家の通学路の安全に対する高い危機管理の情報の共有
- 子どもたちへの安全教育・安全指導の充実
- 施設・設備的な問題の解消
(横断歩道・グリーンベルト、ガード下の白塗、街灯LED・防犯カメラの設置)

各校の実践 5

【地域との連携】

E小学校(中規模)



★子ども見守り隊による地域での安全確保

E小学校では学区内が27区に分かれており、それぞれの区から複数名の「子ども見守り隊」が組織される。現在、登録されている「子ども見守り隊」は、137名おり、地域での子どもの安全を見守ってくださっている。

★「子ども見守り隊」安全パトロール対面式

毎年、5月の初め頃に、「子ども見守り隊」の皆様との対面式を実施している。地区ごと複数に編成された通学班と、各地区の「子ども見守り隊」の皆様とが、互いに顔合わせ、子どもたちが「子ども見守り隊」の皆様の顔をしっかりと覚えることが目的である。



各校の実践 5

★「安全フェスタIN E小学区」の開催

今年度初めて、E地区町内会連合主催による「安全フェスタIN E小学区」が開催された。E地区民の防犯・防災意識の高揚と地域の絆を強固にするねらいの元、E地区の方に参加を広く呼びかけ、実現した。会の中では、「安全・安心まちづくり」宣言と、高齢者と子ども代表による「防犯宣言」、「交通安全宣言」、「早期避難行動宣言」の宣誓が行われた。

★共同宣言



「防犯宣言」

- 1 家庭や地域で防犯について話し合い、犯罪に遭わないよう気を付けます。
- 2 自転車にも、鍵をかけて駐輪します。

「交通安全宣言」

- 1 道路には、絶対飛び出ません。
- 2 自転車も車の仲間、ヘルメットをかぶり、交通ルールを守って運転します。
- 3 車に乗ったときは、必ずシートベルトをします。

「早期避難行動宣言」

- 1 避難情報が出る前でも、身の危険を感じたら、すぐに安全な場所に避難します。
- 2 防災訓練には、積極的に参加します。

各校の実践 6

【ヒヤリハット集の作成・活用】 F小学校(小規模)

【現状】

大事には至らなかったものの、一歩間違えば大きな事故につながりかねない事例がある。

【要因】

- 職員が事故事例および必要な事前指導を意外と知らない、イメージできない。
- ベテランの大量退職に伴い、今後益々若い先生方が増加する中、事故事例および事前指導を受け継がれづらくなってきている。

【考えたこと】

- 事故事例の知識が豊富で、それに合った事前指導やその場での指導が適切に行われれば、事故のリスクを下げることはできるのではないか。

【手立て】

- 本校独自の「ヒヤリ・ハット集」の作成および活用

各校の実践 6

【作成方法】

- 全職員から、これまでの経験をもとに、ヒヤリハットした事例や考えられる手立てについて、情報を集めた。

(本校が経験豊富なベテラン教職員が多いことを生かして)

- 全国的な事故事例を集めた。

- 上記2つを合わせて、

- ①ヒヤリハットの事例 ②考えられる手立て ③自己チェック欄にまとめた。

【活用方法】

- 前期・後期の年2回、全職員が読んで自己チェックする時間を確実に設定する。

- 新たなヒヤリハットした事例が発生したり、危険をイメージできたものがあつたら、未記入欄に記載して提出する。

- 新たなものを集約・更新し、情報提供および確認を行う。

各校の実践 6



手立て(例)を記載

年間2回チェックできるように

教科等	ヒヤリハットした内容	考えられる手立て等	チェック項目
			手立て
教	彫刻刀 手を持って振り向き、他人を傷つけた。	彫刻刀の刃先を指さすことや、彫刻刀の刃先を他人に向けたり、他人の顔や服に刺さるような行為を厳禁する。	<input type="checkbox"/>
	彫刻刀 彫る方向と向き手と反対の手の置く位置の間違いにより手を切った。	彫る方向を確認し、手と反対の手の置く位置を確認し、彫る位置を確認する。	<input type="checkbox"/>
	ブルーカン 火傷をした。	火傷をした場合は、すぐに水をかけ、冷やして、病院に行く。	<input type="checkbox"/>
	流し口ボウル、先投げた流し口ボウルに刺された。	流し口ボウルを投げる時は、周囲を確認し、安全な場所に投げる。	<input type="checkbox"/>
	のこぎり 指を切った。	のこぎりを扱う時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
工	粘土で 振り回したり、投げたりして他人を傷つけた。	粘土で遊ぶ時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
学	運動会 事前学習で優勝旗が倒れ、そばにいた子どもに、先端のとがった部分が付いた。	優勝旗の先端のとがった部分を削ぎ、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
学	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>
	図画工作 画用紙を折り、折った部分で他人を刺した。	画用紙を折る時は、周囲を確認し、安全な場所に置く。	<input type="checkbox"/>

新たな事例があつたり、イメージできた際に記載できる欄、どんどん入れて、付け加えていく。